

# UIFA ニュース

第 6 号

平成 2 年 2 月

◆ 発行 宇治市国際親善協会

事務局：宇治市宇治琵琶 33 宇治市役所秘書課内  
TEL 0774-22-3141 内線 208



カムループ市訪問団一行を歓迎（プラザホテル）

カムループ市から訪問団

友好都市盟約・七月に締結

宇治市が三番目の国際友好都市交流を目指しているカナダ・カムループス市から、元年十一月十九日と二十二日にかけて、ロナルド・ワトソン市長代理を団長とする訪問団（十名）一行が、本市を訪問されました。

一行は、市役所への表敬訪問や、平等院・学校・商工会議所等市内を見学され、最終日の二十二日宇治市長との会談で、二年七月一日、両市が友好都市盟約をカムループス市で締結することで合意されました。

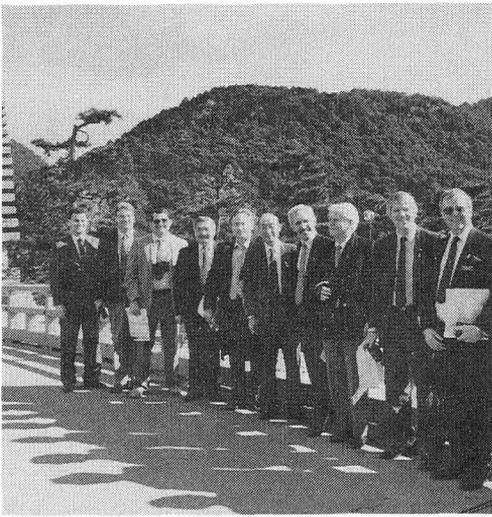
# 調印式はカムループス市で

## ワトソン団長と合意

ワトソン団長ら宇治市訪問団一行は、十九日午後二時すぎ、宿舎の京都醍醐プラザホテルに到着。池本市長、中川・上林親善協会副会長、ミス宇治の三人、また六月と九月にカ市を訪問した皆さんが出迎えました。

同夜には、谷岡会長を初めカ市訪問団有志がなごやかな雰囲気の中で夕食をされました。

二十日は朝から平等院、対鳳庵での抹茶、万福寺の見学のあと午後二時に、宇治市役所を表



敬訪問されました。

庁舎玄関前には、池本市長ら理事者、加藤議長、市議会議員、市職員、そしてミス宇治ら、百五十人が出迎え、市長からワトソン団長、マーテンナゴ助役に花束を贈呈するなど、盛大な歓迎がされました。

このあと第二応接室での懇談に移り、市長から「ようこそ宇治市へお越しいただきました。十七万七千市民を代表して、心から歓迎を申し上げます」と挨拶。これに対してワトソン団長は歓迎に謝意を表したあと、ガグラディ・カムループス市長の親書（次ページ要約）を朗読されました。懇談はなごやかに進み、両市の友好関係が大きく前進をみました。

一行はこのあと、議場、消防本部、太陽が丘を視察し、市主催の歓迎レセプションに出席するなどの一日を過ごされました。

翌二十一日も、早朝から宇治市民との交流を深めようと、菟道高校と菟道小学校の授業の参観、商工会議所正副会頭との懇談をはじめ、宇治ロータリークラブの例会への出席、日産車体

京都工場見学、更には「日本の住宅が見たい」との希望から、伊勢田町の北川氏宅を訪れるなど、精力的な親善に努められました。

二十二日午前十時からは、市役所第二応接室に訪問団一行を迎え、池本市長、石井・中野両助役、加藤・野田正副議長との公式会談が行われました。会談では、

- 調印式はカムループス市で行う。
- 調印日程は、七月一日を中心に調整をする。
- 調印に伴う原案は宇治市側が作り、これに基づき調整する。の三点が合意されています。

十一時すぎ、庁舎玄関前で池本市長、加藤議長らとの再会を誓い、宇治市を離れました。

これにより、六月末日〜七月上旬にかけてカムループス市での調印式に向けての訪問団が派遣されることとなり、近くその団員の募集を開始する予定となりました。



(カムループス市訪問団名簿)

- \* 団長 ロナルド・ワトソン (市会議員)
- ・ 団員 ジョセフ・マーテンナゴ (市助役)
- ・ 団員 ジョン・オフィ (教育委員会理事)
- ・ 団員 マイルス・プリッチャード (商工会議所会頭)
- ・ 団員 ロイ・井上 (日系人協会代表者)
- ・ 団員 ボブ・ゴードン (経済開発公社理事)
- ・ 団員 ラス・ジュラルド (市会議員)
- ・ 団員 ブライソン・ストン (ロータリークラブ会員)
- ・ 団員 メル・ローゼンバガー (デイリーニュース編集主幹)
- ・ 団員 美江・小沢 (カムループス市通訳)

# 親交は「精神の結合」

カムループス市長

フィリップ・A・ガクラデー

私どもの最高の幸福を祈る気持とご挨拶を、市長・市会議員及び宇治市民の皆様にお申し上げます。

市長様、ご存知の様に私どもの町は日本に比べると非常に歴史も浅いです。うかがうところ



菟道小学校を参観

によれば日本の町では、千三百年前の奈良時代にすでに文学の沿革が確立していたということです。

これに反して私どもの市は、一九九三年に百年祭を祝う予定です。従って、私どもの今回の

宇治市への親交の状態は尊敬と愛情をこめたもので、しかも私どもが皆様についての知識を得ることにより、このように長い年月を経てきた人々と文化を感謝して、より一層理解を深めることになるでしょう。

親交はかつて「精神の結合」と定義されましたが、私どもの宇治市への訪問が宇治市と宇治市民にとって、このようなたましいの結合に貢献できることを切望しています。

私どもは、皆様がカムループス市へ訪問されますことを、喜びと期待をもってお待ちしております。りますとともに、その節に友好関係を公式に締結して、相方の誓約を完了する機会となるよう願っております。



宇治市長からプレゼントを



宇治市への訪問団同行記者メル・ローゼンバーガー氏（デイリーニュース編集主幹）は宇治市滞在中も、その歓迎ぶりや感想をファックスを通し、地元市民へ大きく報道しました。ローゼンバーガー記者は、その中で「異文化の人々が互いの個性を知るならば、彼らの違いは消失しあるいは少なくとも理解されるであろう。互いの理解は平和の鍵である。宇治市とカムループス市の友好関係は、反核運動にも増して世界平和へ貢献するであろう。」と述べながら宇治市での様子を報じています。

# カムループス・デイリーニュース 地元にも大きく報道



## ヌワラエリヤ市への 親善訪問団員を募集

宇治市国際親善協会では、次年度最初の事業取り組みとして、スリランカ国ヌワラエリヤ市へ友好親善訪問団を派遣します。

宇治市は昭和六十一年四月に友好都市盟約を締結以来今日まで、ヌワラエリヤ市ビクトリア公園内に日本庭園の作庭や消防自動車の贈呈など、活発な交流を進めてきています。

今回の友好親善訪問団は、同国のお正月とヌワラエリヤ市で開催されるフラワーショーに合わせ派遣するもので、左記要領で募集いたします。積極的な応募をお待ちしています。

- ・日 時 二年四月九日～十七日
- ・訪 問 先 スリランカ国ヌワラエリヤ市とバンコック
- ・募集人員 十五名程度
- ・申し込み 二月二十八日まで
- ・旅 費 約三十万円
- ・申し込み先 宇治市国際親善協会事務局  
宇治市役所 秘書課内  
②一三二四一内線二〇八  
電話又は来庁による。
- ・その他 なお応募者が多い場合は、抽せんにより決定します。